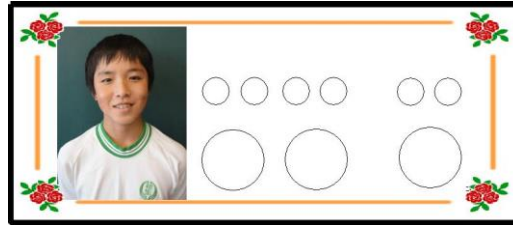


(1) 活動内容

(1) 導入

友達やALTと自己紹介では、名刺を交換しながら自己紹介をした。校務ソフトを用いて、写真、名前入りの名刺を作ることによって、より楽しく、積極的に関わることができた。男女分け隔てなく交流することができ、これからの活動に気持ちを盛り上げることができた。



【ALT、児童の名刺】

【自己紹介する様子】

(2) 活動

① 第6学年 Lesson4 「Turn right.」

相手意識をもって、目的地への行き方を尋ねたり、分かりやすく案内しようとしたりする活動の中で、ロールプレイング形式で道案内をし合った。警察官と迷子の2役に分かれ、道案内をすると、「Excuse me, where is the ~?」「Go straight.」

「Turn ~.」「Here is the ~.」「Thank you!」といった慣れ親しんだ言葉以外にも身振り手振りを交えて道案内する様子を見ることができた。



【ロールプレイの様子】

② 第5学年 Lesson5 「I like apples..」

テキストで使われている絵カードを使って学習を進めた。交流の際好きなものは、児童にとって身近な食べ物、飲み物、動物やスポーツに限定し、アニメや趣味に関わるものも積極的に入れるよう促した。テキストに限らずに好きなものを言えたことで伝わったという喜びが増したようである。その気持ちが、さらに伝えたいという気持ちを膨らませ、「もっと外国語を学びたい」という意欲につなげることができた。



【児童同士の交流の様子】

(2) 成果・課題

- ・ 担任が拙いながらも All English で行おうとする姿勢を見せたことが、児童の積極的に英語を使おうとする意欲につながった。
- ・ 外国の行事や世界遺産を体験したり、知ったりすることで、海外への興味を持つことができた。
- ・ 言い慣れの練習をテンポよく、リズムよく、丁寧にしたことで、外国語に抵抗がある児童も自信をもって英語を使うことができた。
- ・ ALT が子どもの興味を引く話題で話してくれたため、外国人への抵抗感が薄れた。
- ・ 教材準備の負担が5・6年の教師に集中してしまうことが毎年の課題である。昨年度の指導案を参考にしながら、「作る」活動がなくなるわけではない。